

かんがえよう！ やくぶつらんようぼうし 薬物乱用防止

●はじめに

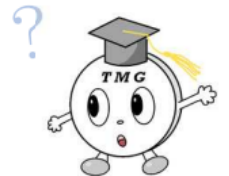
みなさんは、「薬物乱用」という言葉を聞いたことはありますか？

どのようなことをすると薬物乱用になるのか、薬物乱用防止のためにはどうしたらよいのか考えてみましょう。

●どのようなことをすると「薬物乱用」になるのでしょうか？

「薬物乱用」とは、決められたルールを守らないで薬物を使用することです。

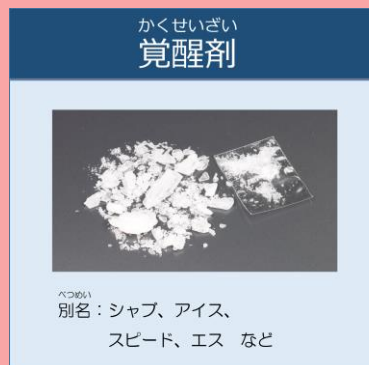
違法な薬物を使用することは、法律というルールを守らない「薬物乱用」です。



●どのような薬物が乱用されている？

乱用される薬物には、大麻、覚醒剤、コカインなどの麻薬、危険ドラッグなど、さまざまなものがあります。乱用される薬物には脳にダメージを与え、身体に様々な影響をもたらします。

らんよう やくぶつ だいひょうれい 乱用される薬物の代表例



※写真は厚生労働省資料より

●薬物を使用するとどのようなことが起こる？

乱用される薬物は脳に作用し、皆さんのこころ（精神）や体に影響を与えます。

- ・実際には聞こえたり見えたりしていないものが、聞こえたり見えたりする（幻聴や幻覚）。
- ・体がふるえたり、力が入らなくなったりする。
- ・怒りっぽくなったり、無気力になったりします。

●薬物を勧められたらどうする？

実際に、薬物乱用を周りの人から誘われたら、みなさんは、どうしますか？

友達や先輩など、身近な人から誘われたとき、みなさんは断れますか？

次に、その「断り方」を学びましょう。



①はっきりと断る！

・まずは、はっきりと断りましょう！

「そういうのはやりたくない。」「怖いから使わない。」「説明書がないから使いたくない。」

「親にダメと言われている。」「そもそも興味ない。」などと理由も一緒に言って、相手に断る意思が強いことを伝えることも有効です。

②その場から逃げる！

・そのようなときは、その場から逃げてください！

その場から立ち去ることも、態度で示す、有効な断り方です。

そして人気のある場所に逃げて、助けを求めましょう。



③おとなに相談する！

・次に、信頼できるおとなに相談しましょう！

無事にその場から離れることができれば、おうちの方や学校の先生など、信頼できるおとなに相談しましょう。



まとめ

★「薬物乱用」とは、決められたルールを守らないで薬物を使用すること。

★違法薬物には「絶対」に手を出さない。

★薬物を勧められたら、

①はっきりと断る。②その場から逃げる。③おとなに相談する。

【「どうする？薬物乱用防止！」問い合わせ先】

東京都 保健医療局 健康安全部 薬務課

03-5320-4505